

超DS宣言～自分を超えろ!

静岡新聞は創刊75周年を機に「超DS」と銘打ったキャンペーンを展開。「これまでを越えろ」を合言葉に、静岡の皆さんが次のステージへと大きな一歩を踏み出すのを応援しています。

未来を創る「超DS宣言～自分を超えろ!」では、果敢に挑戦する企業や団体、人々を紹介いたします。

75th 65th 開局一九五二年

超DS

創刊一九四一年 静岡新聞 SBS

静岡県立大学

開学30周年を機に 地域との協働強化

学長

インタビュー

静岡県立大学
鬼頭 宏 学長



きとう・ひろし氏 1971年慶応義塾大学大学院経済学研究科修士課程修了、専攻は経済学、歴史人口学、上智大経済学部教授、同大地球環境研究所長などを経て、2015年4月から現職。長泉町出身

静岡薬科大と静岡女子大を統合し、静岡県立大学が誕生して来年4月で30年。地域に根差す総合大学として地域と共に、地域のために貢献する若者の育成に努め、約2万人の卒業生を輩出してきた。30年の歴史を踏まえ、これからは県立大がさらに飛躍するために果たす役割や将来像などについて鬼頭学長と学生二人に聞いた。

伝統受け継ぎ、新たな魅力創出

静岡県の人口減少には歯止めがかからず、県内の高校生は地元進学率は3割程度と低くなっています。若者の県外流出が続く中で、県立大学の学部学生のうち3分の2は県内出身者(2016年5月現在)です。その強みはどのようなところにあるとお考えでしょうか。

鬼頭 一つは静岡県がサポートする大学であり、信頼度が高い点です。それに薬学、食品栄養学の研究力が高く、看護学部とともに資格取得も可能です。また、地元企業を目標とする学生には経営情報学部、世界へ飛び出そうという学生には県外にも名前が通っている国際関係学部も魅力的でしょう。先輩諸氏が築いてくれた伝統をアピールしながら

「静岡県の人口減少には歯止めがかからず、県内の高校生は地元進学率は3割程度と低くなっています。若者の県外流出が続く中で、県立大学の学部学生のうち3分の2は県内出身者(2016年5月現在)です。その強みはどのようなところにあるとお考えでしょうか。」

鬼頭 静岡に特化した文化や産業などを学ぶ「しずおか学」があり、全学共通の22科目を設け、卒業までに2単位を必修としていきます。中でも「茶学」は全国的にも特色があり、将来的にはさらに幅広く多角的なお茶の知識を学ぶ茶学コースの創設も検討しています。また、「静岡の防災と医療」は自助と共助とどんな貢献ができるかを考えるという

「鬼頭学長が掲げる大学のミッションは「地域をつくる、未来をつくる」だそうですが、ローカルかつグローバルな大学として独自の取り組みや特徴的なカリキュラムはどんなものがありますか。」

鬼頭 国立大学は文部科学省の提唱する「三つの枠組み」で「地域」「特色」「世界」のいずれかの方向性を選ぶことになりました。県立大学は地域の人材育成が最大のミッションで、若者の県外流出を防ぐダムとしての役割を担っています。また、全国から若者を集め、送り出していく中で一部が静岡にとどまり、地域貢献してもらうことも重要だと

鬼頭 グローバルに活躍する人材の育成を目指し、概ね30ぐらいの海外大学と協定を結び、共同研究や学術交流、交換留学の相互受け入れなどを積極的に行っています。これまで欧米や中国、韓国、フィリピンなどの大学が中心でしたが、さらに拡大大していきたくと考えています。学生には地域や海外での経験を生かし、社会で指導力を発揮できるように積極性とタフネスを備えた社会人になってほしいですね。



赤レンガのキャンパスに憧れ

国際関係学部国際言語文化学科3年
米澤 美侑さん

米澤 他学部には個性の強い学生が多いと思います。大半が海外留学が長期休暇で海外旅行に出掛けますね。それに関心のある国や言語が違い、留学などを経験して個性が出てくるようですね。私も昨年、1年間休学して韓国に留学しました。それが普通に行ける大学なんです。

佐藤 ほとんどが薬剤師志望で国家試験を目標に頑張っている学生です。皆、熱心で真面目ですよ。同じ学年の120人とは全員顔見知りで、アットホームな感じがとてもいいですね。

米澤 県外から大学に通っている多くの友人から「いずれは静岡で就職したい」という話を聞いた時、自分の勉強したことや静岡で勉強できて本当に良かったと感じました。私も韓国に関わる仕事が静岡にあったら、地元で就職したいと思っています。

学生インタビュー

佐藤 薬学部の学生は全国各地から集まっています。京都出身の自分を含め半数以上が県外出身者なのでさまざまな方言が飛び交っているのが楽しいですね。ボランティアサークルもたくさんあって自分は静岡学習支援ネットワーク(SSS)というサークルに所属して活動しています。気軽に参加でき、4年近く楽しく続けることができました。

米澤 赤レンガのキャンパスに憧れていました。4年近く楽しく続けることができました。

佐藤 薬学部の学生は全国各地から集まっています。京都出身の自分を含め半数以上が県外出身者なのでさまざまな方言が飛び交っているのが楽しいですね。ボランティアサークルもたくさんあって自分は静岡学習支援ネットワーク(SSS)というサークルに所属して活動しています。気軽に参加でき、4年近く楽しく続けることができました。

佐藤 薬学部の学生は全国各地から集まっています。京都出身の自分を含め半数以上が県外出身者なのでさまざまな方言が飛び交っているのが楽しいですね。ボランティアサークルもたくさんあって自分は静岡学習支援ネットワーク(SSS)というサークルに所属して活動しています。気軽に参加でき、4年近く楽しく続けることができました。

学部同学年の全学生と顔見知り

薬学部薬科学科4年
佐藤 友亮さん

佐藤 1、2年生のころ教授があれこれ相談に乗ってくれるアドバイザー制度もあり、教授のそばにいる学部の先輩と知り合う機会があって、そういう先輩からいろいろな体験談を聞くことがとても役に立ちました。地域とは今後どのように関わっていきたいかと思っています。

静岡県立大学

UNIVERSITY OF SHIZUOKA

30th

創立30周年記念式典・記念講演

平成28年 11月8日(火) 14時40分～17時まで

【場所】 静岡県立大学大講堂

【講師】 猪木武徳(いのき たけのり) 大阪大学名誉教授

【講演テーマ】 産業化社会と大学の未来

【応募】 10月2日(日)から10月19日(水)まで(定員100名程度抽選)受け付けます。はがき、E-MAIL(30kinen@u-shizuoka-ken.ac.jp)に住所、氏名、電話番号を明記の上、申し込みにください。

〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1
静岡県立大学広報・企画室 TEL:054-264-5103
(問合せ:土・日・祝日除く。)

下記サイトの申込みフォームからも申込みできます。
http://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/outline/30anniversary/004/index.html

抽選結果につきましては、はがきにて御連絡いたします。

10年後の静岡を創る
スーパーセミナー

平成28年12月から開催

内容、応募方法等詳細については、決定次第、下記大学サイトでお知らせします。
http://www.u-shizuoka-ken.ac.jp